



高知高専 学科再編へ

少子化に「強い危機感」

優秀な人材確保狙う

高知高専が大幅な学科再編して近年の志願者数はほぼ半減に落ち、毎年200人を超えており、入学生数の減少への対応と、気校であることは間違いない。少子化の中で生徒確保という視点が大きくなる。しかし、今回の再編を担うのは、15歳人口が減少している中、県をまたいだ高専の再編も考えたいと話す。少子化といかないと話す。高知高専も手は打ってきた。近年、県内公立高の進学率は18倍、定員割れに陥り、高専が現状のまま存続する。高知高専も手は打ってきた。今回の再編に合わせ制服

高知高専 1科に再編

来年度 3年進級時5コース

高知工業高等専門学校(南田市物部)が活躍できる人材育成を2016年度、現在の4学科制から「ソーシヤルデザイン工学」1本に学科を再編する。1、2年で工学的な基礎知識や技術を学び、3年進級時に5つのコースから進路を選択する。複合的な知識や技能を習得することが狙い。これまでは受験時に学科選択が必要だった。しかし、中学3年の段階で将来の職業を見通した学科選択は難しいとの声が多く、再編に踏み切った。3、5年に設定する「エネルギー・環境」「ロボティクス」「情報セキュリティ」「まちづくり・防災」「新素材・生命」の5コースを参照。

学科	概要
再生可能エネルギーや新エネルギーを中心に、未来社会での環境共生技術を学ぶ	再生可能エネルギーや新エネルギーを中心に、未来社会での環境共生技術を学ぶ
災害、医療、産業現場のロボット技術を支える機械、コンピューター知識や技術を習得	災害、医療、産業現場のロボット技術を支える機械、コンピューター知識や技術を習得
医療や食品分野などで未来を支える新素材や生命科学に関する知識を身に付ける	医療や食品分野などで未来を支える新素材や生命科学に関する知識を身に付ける
土木・建築の幅広い知識を身に付け、快適で提案できる人材を育成	土木・建築の幅広い知識を身に付け、快適で提案できる人材を育成
高度情報化社会の安心な暮らしをデザインする通信やコンピューターへの専門家を育成	高度情報化社会の安心な暮らしをデザインする通信やコンピューターへの専門家を育成
専門基礎共通科目および実験実習	専門基礎共通科目および実験実習

高知高専改組の概要
全を守る専門家を育成、クワイリタリー知識、技能を習得する

コースで、全国的にも珍しい。再編に合わせ、授業時間を1コマ50分から90分に変更する。生徒同士で意見を話し合ったり考えたりする時間が必要な授業がしやすくなる。浜中俊一校長は「これまで卒業生は実践的な技術者として評価されてきた。ただ、融合・複合的な視野を持たないと社会の課題が見えないことがある。地域に貢献できる人材を育てていきたい」と話している。(山崎一城)